

目次

支部活動状況紹介

- 最近の活動状況／平尾隆
- 大変だ!!「理工系離れ」に議論百出
 - －高校教諭の見学と懇談会／高津明彦
- 秋季講演大会裏方顛末記／小野寺龍太

九州の企業・大学・研究所の紹介

- 新日本製鐵(株)八幡製鐵所－Progress明日へ／姫野美子
- 三菱重工業(株)長崎造船所
 - －物流とエネルギーの未来に挑む／福田征哉
- 住友金属工業(株)小倉製鐵所
 - －発展し続ける世界最強の条鋼事業グループを目指して!!／中里福和
- 九州大学工学部材料工学科の印象／渡鍋文哉
- 九州工業大学工学部物質工学科
 - －過去、現在、未来／向井楠宏
- 熊本大学工学部衝撃エネルギー実験所
 - －全国共同利用への夢／藤田昌大

- 長崎県工業技術センター
 - 地域科学技術の理想と現実／長田純夫

プロジェクトレポート

- 九州地域の産業技術の発生と変遷の類型
 - －技術の歴史は人の努力とロマンの歴史／成清四男美
- 火山の島九州，火山・地震予知の現状と今後／太田一也
- 地熱発電所におけるスケール付着，腐食防止技術／広渡和緒

技術最前線・最新技術紹介

- 宇宙へのチャレンジャーニッケル電鍍燃焼器／谷保城
- 鉄鋼副産物を活用した電子部品
 - (リードフレーム，シャドウマスク等)の
- エッチング加工液再生処理事業／井下力

随想

- 耶馬台国卑弥呼／西川正行
- 近頃気になること－これからの製鉄業／川合保治
- 高齢化社会を迎えて－いきいきと元気で働くために／尾辻義人

支部活動状況紹介

最近の活動状況



支部長 平尾 隆
(新日本製鐵(株)八幡製鐵所副所長)

日本鉄鋼協会九州支部は昭和20年10月に設立されて以来50年間、九州地区の金属材料関係の大学、企業を中心に活動を展開して来ました。現在の会員数は約640名で、鉄鋼協会の支部としては、中堅規模の支部です。

ご承知のように、九州は古くからアジアの玄関として、また北九州工業地帯を核に、製鉄業や造船業など鉄に係わる多岐多様な産業地帯として発展して来た土地柄であります。最近では、自動車、電子産業などと言った先端産業の立地も盛んです。このような風土のもと九州支部では種々活発な支部活動を展開中です。

支部事業の幾つかを紹介しますと、年に2回の湯川記念講演会、講演討論会を3月と9月に、そして全国大会のミニチュア版である日本金属学会九州支部との共催で合同学術講演会を6月に開催しています。特に、今年と同大会は100件近くの発表があり、活発で白熱した議論が展開されました。又、大学を中心

とした3つの談話会では各会とも年間10～11回と活発な会合を実施しています。その他、総会、理事会、評議員会など役員会も実施しています。

九州支部では、本部でのリストラ80改革を受け、支部の活性化対策について、特に、若い大学・企業の研究者・技術者の活性化に力を入れるべき、種々の事業の企画検討を行っています。一例として、年に2回行われている講演大会の最後に、大学－企業の相互の交流と理解を深める目的で見学会を昨年から実施して来まして、従来とは違った側面から大学、企業の研究施設、研究内容、製造現場を観ることが出来、参加者に好評を博しています。この企画は今後とも続けて行きたいと考えています。そのほか、従来の学生見学会を、通り一遍の工場見学から脱皮させ、若手技術者・研究者との懇談会を中心とした学生啓蒙活動の場とした見学会の実施など支部の活性化を図って行きたいと考えています。

昨今各方面から叫ばれています『理工系離れ』等の問題に対しても積極的に取り組んで来まして、特に高校教諭との「ものづくり教育を考える会」活動に代表されます高校理科部会との交流も盛んで、昨年8月の懇談会実施以降、既に2回、各県理科部会総会で鉄鋼に関する講演依頼にも積極的に対応して来っています。

以上述べて来ましたが、九州支部では地域に根ざした若手(技術者・研究者、学生)の育成、啓蒙活動の強化並びに産学の交流・連帯の強化を図りつつ、今後も支部活動の運営に努力して行きたいと考えています。

